

学校名 美里町立美里中学校

所在地 児玉郡美里町駒衣115-1

電話 0495-76-0379

1 本校の概要

本校は、学級数9（+特支2）、生徒数300の中規模校である。美しい自然と清流に囲まれ、随所から様々な時代の遺跡が発見されている歴史ある町である。町で唯一の中学校であり、保護者、地域の方々ともに学校教育への関心が高く、協力的である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書活動の充実
- ・学校図書館等の環境の工夫

(2) 実践の概要

ア 朝読書の実施

毎週水曜～金曜の朝の10分間を「朝読書」の時間とし、生徒は各自読書に勤しんでいる。始業前の貴重な10分間を机に向かって本を読む時間に充てることで、生徒は落ち着いて朝の時間を過ごし、授業に臨むことができている。

イ 「読み聞かせの会」の実施

今年度から学期に一度、朝読書の時間を活用し、「読み聞かせの会」を実施している。1、3学期は図書担当、2学期は各担任による絵本の読み聞かせを行うことで、本に対する興味を喚起した。また、クラスで同じ本を読み、思いを共有することで話題作りのきっかけとなった。



ウ 学級文庫の充実

生徒が少しでも本を身近に感じ、手に取りやすいように、学級文庫を毎年更新している。年度末に古い本を処分し、新年度に各担任が新書を購入している。こうすることで、きれいで話題の本が読める環境にしている。

エ 図書委員会の活性化

毎年6月に図書委員会主催の生徒朝会を行っている。内容は、図書委員の紹介、学校図書館の利用の仕方、図書委員おすすめの本、夏休みの課題図書の紹介などである。3学期には、給食時間の放送を利用し、新着図書の紹介をしている。

オ 図書館の環境・整備の充実

本校の図書室は全面ガラス張りの、広くきれいな教室である。2階南側に位置するため、太陽光がたっぷり入る、非常に明るい環境となっている。廊下側には図書委員によるおすすめ図書のポスターを掲示し、入室しなくても目に止まりやすくなっている。また、新刊図書コーナーはカウンターの後ろに常設しており、手に取りやすい配架となっている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

全体的に本が好きな生徒が多く、朝読書の時間のみならず、休み時間や給食の前後も本を読んでいる生徒の姿が多くみられる。読書をする姿が非常に自然な教室風景で、生徒の落ち着いた様子が伺える。

(2) 課題

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 |
|------|----|-----|----|
| 在籍人数 | 98 | 104 | 98 |
| 貸出人数 | 86 | 126 | 85 |

※H28年4月～12月末日まで

学年が変わり、例年に比べ図書館の貸出数が大幅に減少した。本が好きな生徒は各自持参した本を読んでいるので、利用者の幅を広げ、生徒が少しでも図書室に足を運べるような工夫が必要である。